

校長室から応援メッセージ(3)

令和7年7月10日(木)

「夏を制する者は受験を制す!」に負けないでね…。

皆さん、こんにちは。来週火曜日、前期の授業が終了します。夏休みが近いこの時期、受験生を前にしての話の中で必ずと言っていいほど使われる言葉があります。「ああ、あれかな」と、もう予想できそうです。「夏を制する者は受験を制す!」。よく聞きますね。耳にタコができるほど…。なぜタコなのでしょう。イカだと足がありすぎるし、ぬるぬるしていけないのですかね。

これは、夏休みを有効に活用してくださいね、という親切心から発せられる言葉ですが、受け取る側は、この手の言葉に何らかの圧力を感じます。その圧力を前に進む力に転化できればいいのですが、私たちは学習の成果を自分では過小評価することが多く、そのため夏休み期間を不安の中で藻掻くことになります。

「夏を制する者は受験を制す!」が真の命題だとしても、「夏を制する」は十分条件です。必要条件ではありません。夏は制さなくても何とかなる。力まなくても大丈夫です。この夏はまず一日一日を新鮮な気持ちで迎えましょう。新鮮な気持ちとは、過ぎた昨日を後悔しない、そしてまだ来ぬ明日を心配しないことです。

皆さん、今日一日をたっぷりと生きましょう。この先の長い人生、いつもそうあってほしいのですが、今日一日を生きるためには、今の自分は幸せだ、今が人生で一番いい時だ、そう思うことです。嘘でもそう思う、ではありません。気づけないだけで、過去も未来も切り離し、現在の意識だけの私は本来幸せなのです。

山梨予備校で学んでいる自分は幸せだ。素晴らしい仲間と出会い、優しい先生たちに囲まれて、なんて幸せなのだろう。こんな幸せな自分なら何の計らいもなく目の前のことに没頭しています。以上で「夏を制する者は受験を制す!」に負けないでね…。話を終わります。皆さん、負けてはダメです。今日の自分を信じるだけです。